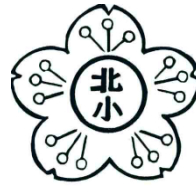


北小物語2018



平成30年11月27日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (65)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 「いっしょ」「いっしょ」「いっしょ」 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第65話：「紙風船が学校にやってきた！～北っ子、お話の世界に浸る～」の巻 ☆☆☆



お話の世界に浸る北っ子たち!

11月26日(月) うっとりとした空気が北っ子の心の中に広がりました。県下でも有名な生月町の読み聞かせグループ「紙風船」によるお話の世界が北小を包んでくれたのです。11月1日(木)から始まった「北小読書月間」のメインイベントとして開催されたこの取組は、子どもたちとお話をつなぐすてきな時間となりました。低・中・高学年に分かれ、三部構成で行われた「紙風船」の読み聞かせは、本や絵本、紙芝居に加え、エプロンシアターやパネルシアターなど実にバラエティに富み、子どもたちをとっぴりとお話の世界に浸らせてくれました。どの学年でも披露された人形劇「さるとかに」はメンバーの皆さんによる手作りに軽妙でコミカルな動きから最後まで、北っ子たち多くの昔話の中には、私したい教訓や価値が込めるとかに」のお話の中に「ばちが当たること」「弱ること」などが示されて方々の優しい語り口は、温かい思い出となりました魅力あふれる本をたくさん本との出会い、お話のを引き上げ、豊かなもの「紙風船」のお話会は、を確かなものにするると浸る喜び、幸せを感じさせるものとなりました。秋の夜長、ご家族そろっての読書もお楽しみください。



りのキャラクターが、実を通して、お話の最初かを笑顔にしてくれました。たちが生きる上で大切にされています。この「さも、「いじわるをすると、い立場の人をみんなですいました。「紙風船」の北っ子の心をふるわせ、た。ブックトークでは、ん紹介してくれました。世界は、子どもたちの心にしてくれます。今日の本と子どもたちとの接点にも、本やお話の世界に

図書集会でも楽しいは話会!



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
「紙風船」の読み聞かせに続き27日(火)のふれあいタイムでは、図書委員会による「集会」が開催されました。絵本「たべたのだ～れ?」や「三枚のお札」のお話会、図書分類についての分かりやすい説明があり、ますます北っ子たちの読書欲をかき立ててくれました。読書月間は30日までですが、北っ子の読書の旅は果てしなく続きます。